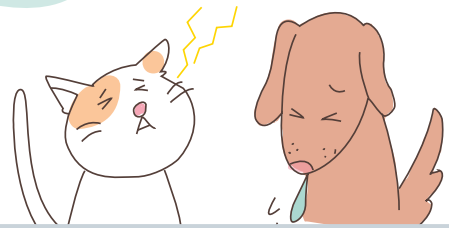


鼻水が止まらない。咳が長く続く。 これ、“たばこ煙”への過敏反応かも。

「慢性鼻炎」や「慢性気管支炎」と診断され、呼吸がいつもより苦しいようなら、今の生活の質を変えてみるのも一考です。旅行に出かけたり、もちろん当社の酸素ハウスに閉じ籠もったりするのもあり。でも・・・それより、この機会に禁煙を考えてみたら！



「ペットと暮らして、家族みんなで健康に！」

“たばこ煙”が原因で鼻炎や喘息、肺炎に、さらには命に関わる重症な心臓病や肺癌の引き金になることはよく知られています。そして、これは喫煙者の家族にも。大人の喫煙嗜好により、“たばこ煙”の暴露、話題の「受動喫煙」を許す環境が、子どもたちの健康を害することも知られています。また最近では、喫煙後に服やカーテン、壁紙に付着した“たばこ煙”の成分がジワジワとそこで生活するものの健康を脅かすこと、三次「受動喫煙」により被る影響もわかってきました。子どもたちは学校があるので、外へ出かけます。でも、もう一つの小さな家族、動物たちは家の中で・・・。

国内で伴侶動物（ペット）の受動喫煙に関する研究者のひとり、日本大学獣医麻酔・呼吸器学研究室の山谷吉樹教授によると、「動物を飼うことと同時に喫煙をしてしまう理由は癒しを得たいという気持ち、またはストレス解消という現代人の疲れた心に関係しているものと理解できますが、それでも子どもやペットの健康を守るため、呼吸器疾患をもつような脆弱者（喘息のような呼吸器病をもった子どもやペット）の増悪を防ぐため、自宅での屋内外喫煙は絶対にやめていただきたい」と厳しく戒めておられます。

同じ病気になっても動物は人間同様の診断や治療が出来ないケースも多く、日常的により一層の予防策が求められます。どうか動物と共に暮らすご家庭での喫煙は絶対になくしてください。

獣医師の諸先生に

アメリカ獣医師会 AVMA の WEB サイトに、パブリックコメントの記載があります。ご参照ください。
(<https://www.avma.org/public/PetCare/Pages/Stop-smoking-for-your-pets-health.aspx>)